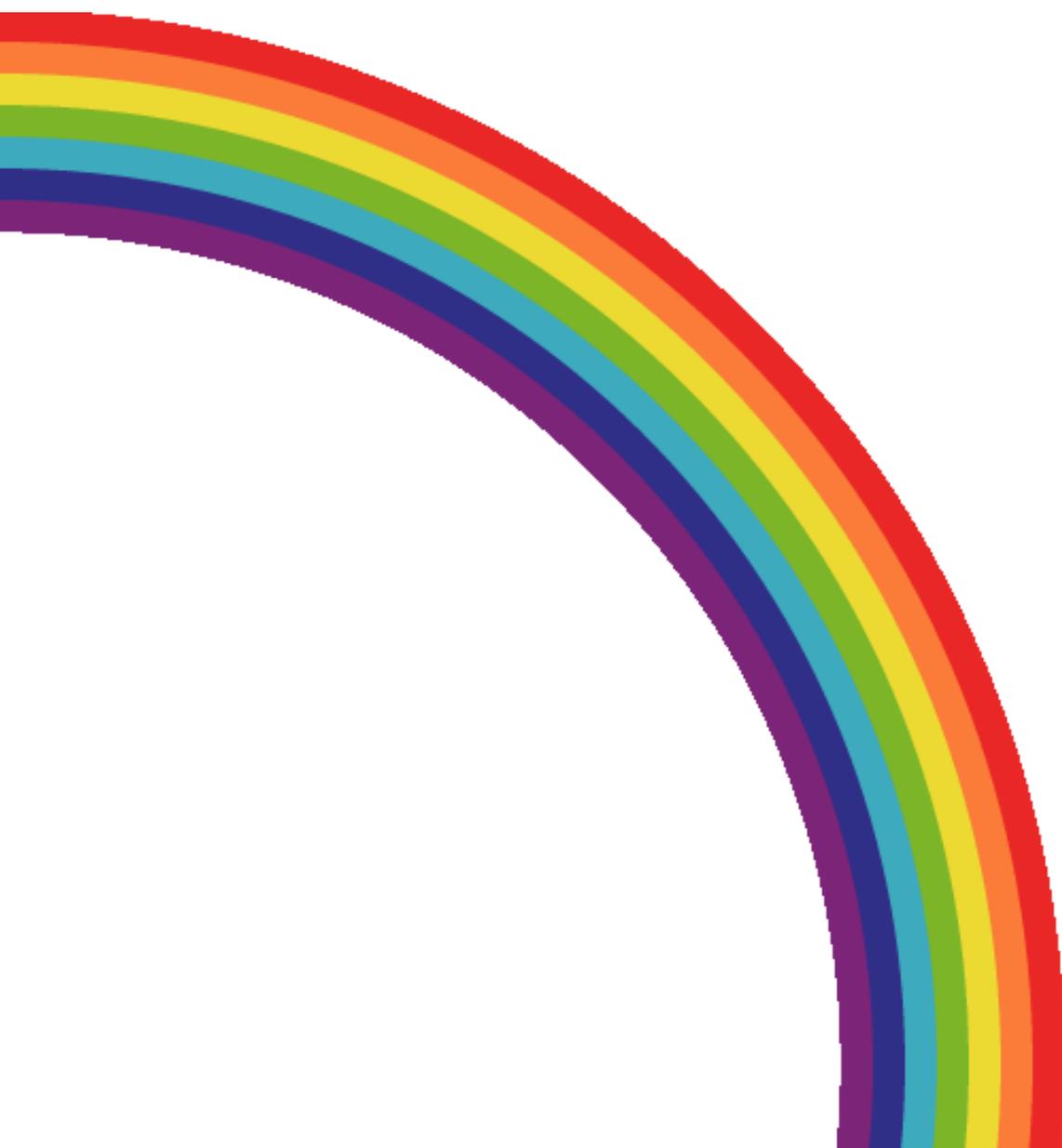




平成 27 年度 第 1 回  
学生選書ツアー一本カタログ





## 選書ツアーとは？

学生の皆さんが直接書店に出向き、  
図書館に置いてほしい本を選ぶ企画

図書館本館に置く、ということを念頭に置きつつ、  
専門書から趣味・実用・ビジネス書 etc etc...  
参加者それぞれのラインナップが  
楽しみな企画です。

### 【開催概要】

開催日時：平成27年6月13日(土)  
11:00-16:30

開催場所：三省堂書店神保町本店

参加者：7名



地理環境科学域

修士2年

窪田裕子

映画の原作読んでみませんか？

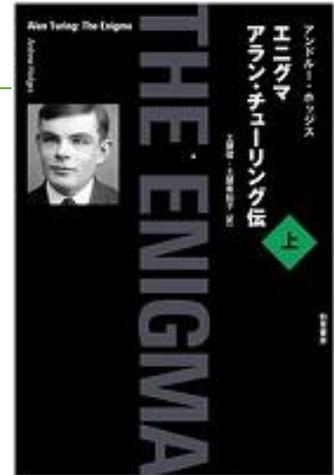
話題になった映画の原作を読む

とまた違った見え方が・・・

「エニグマ：  
アラン・チューリング伝」

アンドルー・ホッジス著  
； 土屋俊， 土屋希和子訳

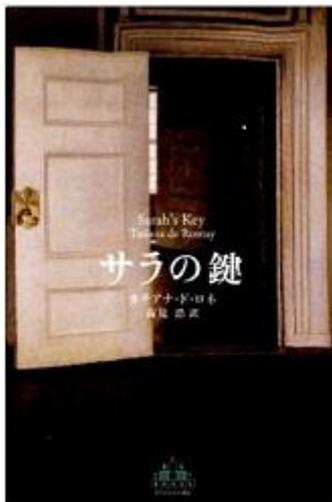
/289.33/Tu6h/1



現代社会に必要な  
コンピュータ。  
その元となる理論を作った人をご存知ですか？

身近過ぎるモノの歴史を知ると、  
自分の生活の見方が変わるかもしれません。

映画 「イミテーション・ゲーム」



映画の原作を読んでみよう!!

『サラの鍵』ユダヤ人の悲劇というとドイツを  
思い浮かべることが多いですが、実は占領下の  
パリでもこんなことがあったのです・・・。

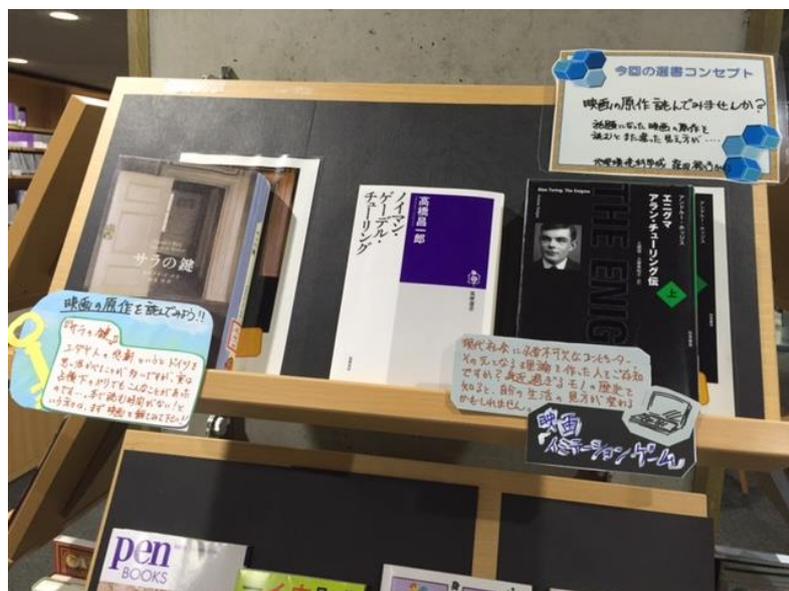
本で読む時間がない！という方々は、まず映画  
を観てみて下さい!!

映画 「サラの鍵」

「サラの鍵」

チアナ・ド・ロネ著；高見浩訳  
/933/R72s/2012

書名	著者	出版者	請求記号
マイクロ・ライブラリー	まちライブラリー, マイクロ・ライブラリーサミット実行委員会 2014 編 ; 磯井純充 [ほか] 著.	学芸出版社	/016.2/Ma18m/2015
なぜ人類のIQは上がり続けているのか?	ジェームズ・R.フリン著 ; 水田賢政訳.	太田出版	/141.1/F35n/2015
ユダヤとは何か。(Pen books ; 019).	ペン編集部編.	阪急コミュニケーションズ	/199/P37y/2012
中東とイスラーム世界が一気にわかる本	宮崎正勝著.	日本実業出版社	/227/Mi88h/2015
街角の遺物・遺構から見たパリ歴史図鑑	ドミニク・レスプロ著 ; 蔵持不三也訳.	原書房	/235.3/L56m/2015
古地図に憑かれた男	マイケル・ブランディング著 ; 森夏樹訳.	青土社	/289.53/Sm4b/2015
暮らしがあるからまちなのだ!	梅津政之輔著.	学芸出版社	/318.6/U74k/2015
スウェーデン「住み続ける」社会のデザイン	水村容子著.	彰国社	/365.3/Mi95s/2014
セクシュアルマイノリティ	セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク編著 ; ロニー・アレキサンダー [ほか] 著.		/367.9/Se45s/2012
聞きたい知りたい性的マイノリティ	杉山貴士編.	日本機関紙出版センター	/367.9/Su49k/2008
ノイマン・ゲーデル・チューリング (筑摩選書 ; 0102).	高橋昌一郎著.	筑摩書房	/410/Ta33n/2014
3分でわかるホーキング	ポール・パーソンズ, ゲイル・ディクソン著 ; 福田篤人訳.	エクスマレッジ	/421/P25s/2013
若田光一の絶景宇宙写真とソラからの便り	Koichi Wakata [著] ; JAXA, NASA [撮影].	エクスマレッジ	/450/W27w/2015
12ヶ月のお天気図鑑	武田康男, 菊池真以著.	河出書房新社	/451/Ta59j/2015
身につく気象の原理 (ファーストブック STEP).	横川淳著.	技術評論社	/451/Y74m/2015
日本の文様 = Traditional Japanese patterns and motifs	濱田信義企画・編集 ; ルーシー・マクレーリ翻訳.	パイインターナショナル	/727/H22n/2015
すぐわかるヨーロッパの装飾文様	鶴岡真弓編著.	東京美術	/757/Ts86s/2014
パリ左岸のピアノ工房 (新潮クレスト・ボックス).	T. E. カーハート著 ; 村松潔訳.	新潮社	/763.2/C17p/2013
ことばで考える	安井稔著.	開拓社	/804/Y64k/2013
Sarah's key	Tatiana de Rosnay ; [pbk.].	St. Martin's Griffin	/933/R72s/2007



理工科学研究域  
生命科学

修士2年

合志真衣

- ・外国人とコミュニケーションする時に欲しい本
- ・観光地、文化、芸術
- ・知って欲しい日本、伝えたい日本



日本の色、知っていますか？ 美しい日本の色  
群青色 サクラ 濃色 浅葱色 緋色 銀鼠色  
菖蒲色 紅葉 苺安色 藤 山藍摺色

「日本の絶景パレット 100 : 心ゆさぶる色彩の旅へ」  
永岡書店編集部編著 永岡書店, 2014. 11  
/291/N18n/2015



油揚げ Aburaage  
小豆 Azuki  
こたつ Kotatshu  
風呂敷 焼酎 神棚  
畳 Tatami 仏具 Buthugu しゃもじ Shamoji  
たわし Tawashi  
これ全部英語で説明できますか？  
Can you explain about these in English?  
他、様々なシリーズ入荷してます！

「日本の衣食住」まるごと事典  
とよぎょうこ, ステュウット ヴァーナム-アットキン  
著; 澤田組訳 IBC パブリッシング, 2007  
/383/To95n/2014

イギリスの名著&マンガの挿絵 異色のコラボレーション

That depends a good deal on where you want to get to.

この名文の意味、ご存知ですか？  
 かわいい挿絵と一緒にアリスの原著をご堪能あれ!!(´▽`\*)



「Alice's adventures in Wonderland and Through the looking-glass」

by Lewis Carroll ; illustrated by Kriss Sison  
 Seven Seas , 2014  
 /933/C22a/2014

書名	著者	出版者	請求記号
マンガでわかる仏像	誠文堂新光社	誠文堂新光社	/186. 8/Ma43m/2015
高野山	半沢克夫	講談社	/748/H29k/2011
鮨(バイリンガル版)	長山一夫	バイインターナショナル	/596. 2/N25s/2011
英語で作る料理の教科書	川上文代	新星出版社	/596/Ka94e/2012
京都の花街	溝縁ひろし	光村推古書院	/384. 9/Mi93k/2015
Lonely Planet Japan	Rowthorn, Chris/Bender, Andrew/Crawford,	Lonely Planet Publications	/291/R78j/2013
Michelin Green Guide Japan 2nd ed.	Michelin Travel & Lifestyle	Michelin & Cie, Service de Tourisme	/291/Mi13j/2013
ラーメンガイドブック	石山勇人	実業之日本社	/596. 3/I83r/2015
日本の料理(対訳ニッポン双書)	黒田基子	I B Cパブリッシング	/596. 2/Ku72n/2014
日本人のこころ(対訳ニッポン双書)	山久瀬洋二	I B Cパブリッシング	/361. 4/Y29n/2015
ニッポンのしきたり(改訂版)(対訳ニッポン双書)	土屋晴仁	I B Cパブリッシング	/385/Ts32n/2013
不思議の国ニッポン(対訳ニッポン双書)	安部直文	I B Cパブリッシング	/302. 1/A12f/2015
日本現代史(増補改訂版)(対訳ニッポン双書)	ジェームズ・M. ヴァーダマン	I B Cパブリッシング	/210. 7/V42n/2013
英語で遊ぶおりがみ(対訳ニッポン双書)	アイビーシーパブリッシング株式会社	I B Cパブリッシング	/754. 9/A22e/2015
Japan-beautiful landscapes・Japan's sou	日本の美研究会	ナツメ社	/291/N77j/2014
英語で伝えたいいつもの日本	江口裕之	ディーエイチシー	/837. 8/E33e/2015
あなたも通訳ガイドです	柴山かつの	ジャパンタイムズ	/837. 8/Sh19e/2009
英語で日本文化の本	三浦史子	ジャパンタイムズ	/302. 1/Mi67e/2015
Yokai attack!	依田寛子	チャールズ・イー・タトル出版	/388/Y73y/2012
A guide to food buying in Japan	キャロリン・R. クラウス	チャールズ・イー・タトル出版	/596/Kr7g/1986
Kawaii!: Japan's Culture of Cute H 224 p. 13	Okazaki, Manami/Johnson, Geoff	Prestel-Verlag Dr. Paul Capellmann	
あなたも通訳ガイドです	柴山かつの	ジャパンタイムズ	/837. 8/Sh19e/2010
英語で紹介する日本事典	堀口佐知子	ナツメ社	/291/E37n/2010
英語でつくる和食(完全版)	藤田裕子	ナツメ社	/596. 2/F67e/2012

理工学系

物理学コース 3年

嶋崎真佳

ほぼ役に立ちそうなこと



ナイスな文章、  
書いてますか？  
自分を表現する、文章の力  
私達と同じ視点で  
カジュアルに  
教えてください

『あなたの言葉が聞きたい』

「おとなの小論文教室。」  
山田ズーニー著 河出書房新社，2009.2  
/816/Y19o/2014



東日本大震災の日から、未来を創り出すために立ち上がった  
「ふつうの誰かさん」とのインタビュー。  
『この本の中には、あなたかもしれない』

「できることをしよう。：ぼくらが震災後に考えたこと」  
糸井重里，ほぼ日刊イトイ新聞著 新潮社，2015.3  
/369. 3/191d/2015

『ほら打ち返して』



「ボールのようなことば。」  
 糸井重里, 東京糸井重里事務所, 2012.4  
 /914. 6/191b/2014

書名	著者	出版者	請求記号
たった1日で即戦力になるExcelの教科書	吉田拳	技術評論社	/007. 6/Y86t/2015
新人諸君、半年黙って仕事せよ	山田ズーニー	筑摩書房	/159. 4/Y19s/2010
ファイマンさんの流儀(ハヤカワ文庫)	ローレンス・M. クラウス	早川書房	/289. 53/F23k/2015
働くためのコミュニケーション力(ちくま文庫)	山田ズーニー	筑摩書房	/361. 4/Y19h/2013
14歳からの社会学(ちくま文庫)	宮台真司	筑摩書房	/361/Mi71j/2015
はたらきたい。 - ほぼ日の就職論 (新装版)	糸井重里	東京糸井重里事務所	/366. 2/To46h/2014
掟破りの数学	サンジョイ・マハジャン	共立出版	/410/Ma29o/2015
ファイマン流物理がわかるコツ(増補版)	リチャード・フィリップス・ファイマン	岩波書店	/420/F23f/2015
任天堂ノスタルジー(角川新書)	牧野武文	KADOKAWA	/589. 7/Ma35n/2015
ものづくりのイノベーション「枯れた技術の水平思考」とは何か?(P-vine books)	横井軍平	Pヴァイン・ブックス	/589. 7/Y76m/2012
おだまり、ローズ	ロジーナ・ハリソン	白水社	/591/H33o/2015
大局観(角川oneテーマ21)	羽生善治	角川書店	/796/H11t/2014
桜井政博のゲームを作って思うこと2			/798/Sa47s/2
絶叫委員会(ちくま文庫)	穂村弘	筑摩書房	/914. 6/H83z/2015
たんぽぽ娘(河出文庫)	ロバート・F. ヤング	河出書房新社	/933/Y95t/2015

システムデザイン学部

情報通信システムコース

1年

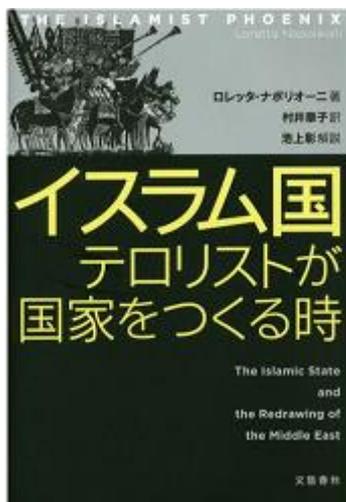
中澤真人

興味のままに選びました



「作曲」をしてみませんか？  
宇多田ヒカル サカナクションなども  
使っているソフト

Logic Pro X 10.1 攻略 book  
東哲哉著 サウンド・デザイナー，2015. 3  
/763. 9/A991/2015



イスラム国から「近代国家」が見えてくる

イスラム国：テロリストが国家をつくる時  
ロレッタ・ナポリオーニ著；村井章子訳  
文藝春秋，2015. 1  
/316. 4/N49i/2015

書名	著者	出版者	請求記号
池上彰の教養のススメ	池上彰	日経BP社	/002/I33i/2015
リベラルアーツの学び方(ディスカヴァー・レボリューションズ)	瀬本比呂志	ディスカヴァー・トゥエンティワン	/002/Se16r/2015
シンプルに考える	森川亮	ダイヤモンド社	/159.4/Mo51s/2015
アル・ゴア未来を語る	アル・ゴア	KADOKAWA	/304/G67a/2014
いま、君たちに一番伝えたいこと	池上彰	日本経済新聞出版社	/304/I33i/2015
日本は衰退するのか	五百旗頭真	千倉書房	/304/I61n/2014
誰が平和を殺すのか	佐高信	七つ森書館	/304/Sa83d/2014
民主主義の敵は安倍晋三	佐高信	七つ森書館	/304/Sa83m/2014
反知性主義とファシズム	佐藤優	金曜日	/304/Sa85h/2015
「殺しあう」世界の読み方(オフレコ!BOOKS)	宮崎学(評論家)	アスコム	/304/Sa85k/2015
愛国論	田原総一郎	ベストセラーズ	/304/Ta19a/2014
知らない恥をかく世界の大问题(角川新書)	池上彰	KADOKAWA	/319/I33n/2015
希望の資本論	池上彰	朝日新聞出版	/331.6/I33k/2015
HARD THINGS	ベン・ホロウィッツ	日経BP社	/335.1/H89h/2015
なぜ、お札でモノが買えるのか	高橋洋児	言視舎	/337.1/Ta33n/2015
面白くて眠れなくなる社会学	橋爪大三郎	PHPエディターズ・グループ	/361/H38o/2015
釜石の奇跡	日本放送協会	イースト・プレス	/374.9/N69k/2015
世界No.1トヨタの非常識な45の習慣	若松義人	PHPエディターズ・グループ	/509.6/W21s/2015
4K、8K、スマートテレビのゆくえ	西正	中央経済社	/547.8/N81y/2015
なぜ今ローソンが「とにかく面白い」のか?	上阪徹	あさ出版	/673.8/U47n/2015
Logic Pro 10 10.1 攻略BOOK	東哲哉	サウンド・デザイナー	/763.9/A991/2015
Pro Tools 11 Software徹底操作ガイド(The best reference books extre)	高山博	リットーミュージック	/763.9/Ta56p/2014
イノベーション・ファシリテーター	野村恭彦	プレジデント社	/809.6/N95i/2015
聞いて覚える英単語キクタンTOEFL test	田中真紀子	アルク(杉並区)	/830.7/B89k/2014
TOEFLテスト英単語3800(4訂版) TOEFLテスト大戦略シリーズ	神部孝	旺文社	/830.7/Ka32t/2015
完全攻略!TOEFL iBTテスト模試3回分(改訂版)	メグミ・ミヤジエイフスカ・カワテ	アルク(杉並区)	/830.7/Ka98k/2015
TOEFL iBTテストスコアアップ大特訓	植田十三	アスク出版	/830.7/U32t/2015
はじめての超カンタンフランス語	塚越敦子	駿河台出版社	/850/Ts53h/2015
火花	又吉直樹	文藝春秋	/913.6/Ma71h/2015
東京藝大物語	茂木健一郎	講談社	/913.6/Mo16t/2015
ドナルド・キーン(Kawade道の手帖)		河出書房新社	/930.28/Ke18k/2014
都会からはじまる新しい生き方のデザイン	ソーヤー海	エムエム・ブックス	
The 15 Commitments of Conscious Leadership			

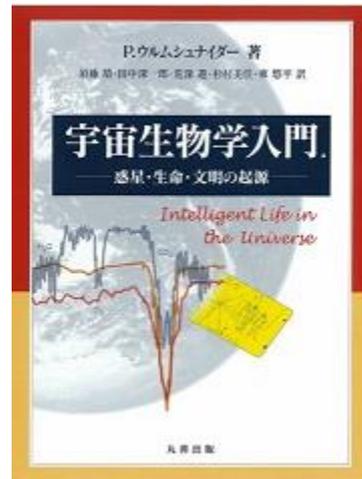
理工学部

生命科学コース

1年

日高颯汰

価値観の変わった時代



宇宙人は本当に存在するのか？

するとしたら一体どこに、どんな姿で？

そんな疑問に答えるのが「宇宙生物学」

本書はその入門書。宇宙における生物の可能性を、気鋭の学者たちが解き明かす。

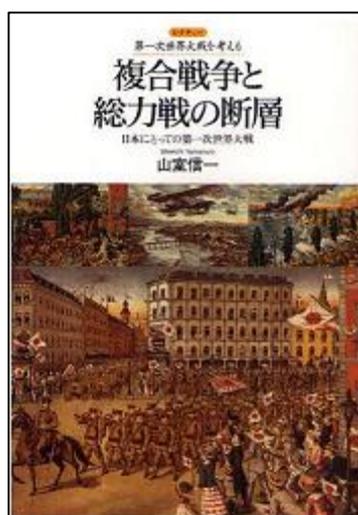
これさえ読めば、あなたも宇宙生物学者!!

『宇宙生物学入門：惑星・生命・文明の起源』

P.ウルムシュナイダー著；須藤靖 [ほか] 訳

丸善出版，2012.6

/440/U61u/2013



人類が初めて経験した世界戦争—第一次世界大戦。

本書は海の向こうで起こった世界大戦に、当時の日本がどのように関わっていったかの克明な記録と分析を行っている。

100年前の世界情勢を知る本。

『複合戦争と総力戦の断層：

日本にとっての第一次世界大戦』

山室信一著 人文書院，2011.1

/210.6/Y32f/2011

書名	著者	出版者	請求記号
国際連盟：世界平和への夢と挫折（中公新書；2055）.	篠原初枝著.	中央公論新社	/080/C64c/2055
植物はすごい（中公新書；2174）.	田中修著.	中央公論新社	/080/C64c/2174
進化生物学入門（講談社学術文庫；[2168]）.	栗田子郎 [著].	講談社	/080/Ko19k/2168
ロボットの世紀（文庫クセジュ；869）.	シリル・フィエヴェ著；本多力訳.	白水社	/085/B89h/869
1914年：100年前から今を考える（平凡社新書；733）.	海野弘著.	平凡社	/209.7/U76s/2014
第一次世界大戦と日本（講談社現代新書；2266）.	井上寿一著.	講談社	/210.6/I57d/2014
絶対に行けない世界の非公開区域 99：ガザの地下トンネルから女王の寝室まで（ナショナルジオグラフィック）.	ダニエル・スミス著；小野智子、片山美佳子訳.	日経ナショナルジオグラフィック社	/290.9/Sm5z/2015
写真でみる女性と戦争	ブレンダ・ラルフ・ルイス著；松尾恭子訳.	原書房	/367.2/L59s/2013
遠すぎた家路：戦後ヨーロッパの難民たち	ベン・シェファード著；忠平美幸訳.	河出書房新社	/369.3/Sh14t/2015
第一次世界大戦	マイケル・ハワード著；馬場優訳.	法政大学出版局	/391.2/H96d/2014
流血の夏	梅本弘著.	大日本絵画	/391.2/U71r/2012
雪中の奇跡	梅本弘著；：新装版.	大日本絵画	/391.2/U71s/2013
宇宙生物学で読み解く「人体」の不思議（講談社現代新書；2226）.	吉田たかよし著.	講談社	/440/Y86u/2013
生物と無生物のあいだ（講談社現代新書；1891）.	福岡伸一著.	講談社	/460/F82s/2008
宇宙生物学への招待（文庫クセジュ；830）	フランソワ・ロラン、フロランス・ロラン＝セルソー、ジャン・シュネデル著；唐牛幸子訳.	白水社	/460/R18u/2000
時間生物学とは何か（文庫クセジュ；844）.	アラン・レンベール著；松岡芳隆、松岡慶子訳.	白水社	/463.9/R25i/2001
巨大翼竜は飛べたのか（平凡社新書；568）.	佐藤克文著.	平凡社	/481.7/Sa85k/2011
ヴィジュアル大全 スチームパンク	ブライアン・J・ロブ著；日暮雅通訳.	原書房	/702/R51v/2014
スチームパンク・バイブル	ジェフ・ヴァンダミア、S.J.チャンバース作；平林祥訳.	小学館集英社プロダクション	/702/V28s/2015
1000 スチームパンク造形作品	Dr.Grymm, Barbe Saint John 編.	グラフィック社	/719/D81s/2011



システムデザイン学部  
情報通信システムコース

1年

福島秀敏

新たな始まり



最新の脳科学で読み解く

サイコパスの心の闇

サイコパス・インサイド :  
ある神経科学者の脳の謎への旅

ジェームス・ファロン著 ; 影山任佐訳  
金剛出版, 2015. 1

/493. 7/F13s/2015



自分の人生を生きる!!

親支配からの旅立ち

強圧な毒父の精神支配をいかにして乗り越えるか!

毒父家族 : 親支配からの旅立ち

井上秀人著

さくら舎, 2015. 5

/367. 3/I57d/2015

書名	著者	出版者	請求記号
ドーナツを穴だけ残して食べる方法	大阪大学ショセキカプロジェクト編.	大阪大学出版会	/002/073d/2014
Google の入社試験	竹内薫編.	徳間書店	/031.7/Ta67g/2008
気になる「本音」をズバリ見抜く心理の技法大全	おもしろ心理学会編.	青春出版社	/140/063k/2014
面白いほどわかる!他人の心理大事典	おもしろ心理学会編.	青春出版社	/140/063o/2015
頭がいい人の「論理思考」の磨き方	渡辺パコ著.	かんき出版	/141.5/W46a/2015
「なるほど!」とわかるマンガはじめての他人の心理学	ゆうきゆう監修.	西東社	/141/Su49n/2015
不思議現象なぜ信じるのか	菊池聡, 谷口高士, 宮元博章編著.	北大路書房	/147/Ki24f
図解で早わかり最新税金のしくみ.		三修社	/345.2/Sa66z/2015
イヤになるほど人の心が読める	ヘンリック・フェキセウス著; ヘレンハルメ美穂, フレムリング和美訳.	サンマーク出版	/361.4/F23i/2013
大人のための会話(コミュニケーション)の全技術	齋藤孝著.	KADOKAWA	/361.4/Sa25o/2015
「めんどくさい人」の取り扱い方法	渋谷昌三著.	PHP 研究所	/361.4/Sh23m/2014
わかる!使える色彩学	勝馬ちなつ著.	洋泉社	/675/Ka88w/2015
知識ゼロからの西洋絵画入門	山田五郎著.	幻冬舎	/723/Y19c/2015
西洋絵画史入門	山田五郎著.	幻冬舎	/723/Y19s/2015
透明水彩で描く風景	醍醐芳晴著.	グラフィック社	/724.4/D17t/2012
だまし絵の描き方入門	杉原厚吉著.	誠文堂新光社	/725.2/Su34d
静物デッサン	国政一真著.	誠文堂新光社	/725.5/Ku45s/2015
風景デッサンの基本(ナツメ社 art マスター).	湯浅誠著.	ナツメ社	/725/Y96f/2015
マンガストーリー講座	田中裕久著.	翔泳社	/726.1/Ta84m/2014
コピックをはじめよう	加藤春日, 碧風羽著; : mini.	飛鳥新社	/726.5/Ka86k/2015
幻想的な背景を描く(コミックス・ドロウイングブック EXTRA).	六七質著; コミックス・ドロウイング編集部編.	誠文堂新光社	/726.5/Mu32g/2014
絵本をつくりたい人へ(玄光社 MOOK).	土井章史著.	玄光社	/726.6/D83e/2014
初心者のためのキーボード講座	自由現代社編集部編著.	自由現代社(発売)	/763.9/J55s/2014
キーボード(初心者のためのコード・ブック)	小胎剛, 江部賢一編著.	自由現代社(発売)	/763.9/081k/2011
魅せる!マジック入門基本のポイント55(コツがわかる本).	JPMAGIC 監修.	メイツ出版	/779.3/Me27m/2012
Unity5 3D ゲーム開発講座(SMART GAME DEVELOPER).	まつだす[ほか]著.	翔泳社	/798/Ma75u/2015

システムデザイン学部

情報通信学部 1年

外間立洋

興味のままに選びました



そこは未来の工事現場！

惑星開拓者達の物語

クラウド・アトラス  
デイヴィッド・ミッチェル著；中川千帆訳  
河出書房新社，2013.1

/933/Mi59k/1、2



守るにはまず攻め方から！

ハッカー育成講座

ハッカーとはどのような知識を持ち、どのような順でサーバーに侵入して情報を盗むのか？

サーバー侵入達成までの具体的な流れを知識の浅い方にも理解できるよう順を追って丁寧に解説

(本書より)

ハッカーの学校

IPUSIRON 著；MAD 編 データハウス，2015.1

/547.4/162h/2015

書名	著者名	出版社	請求記号
ソーシャル・エンジニアリング	クリストファー・ハドナジー	日経B P社	/007.6/H11s/2012
事例から学ぶ情報セキュリティ	中村行宏	技術評論社	/007.6/N37j/2015
考えなしの行動？	ジェーン・フルトン・スーリ	太田出版	/141.7/Su76k/2009
消費が社会を減ぼす？！	ベンジャミン・バーバー	吉田書店	/332.53/B21s/2015
テクノロジーが雇用の75%を奪う	マーティン・フォード	朝日新聞出版	/366/F39t/2015
アンドロイドは電気羊の夢を見るか Do androids dream of electric sheep?	Philip K. Dick		/837.7/093o/5-4
大空のドロテ(1~3)	瀬名秀明	双葉社	/913.6/Se57o/1 ~3
星を創る者たち	谷甲州	河出書房新社	/913.6/Ta87h/2013
マルドゥック・スクランブル(改訂新版)	沖方丁	早川書房	/913.6/U13m/2010
ファウンデーション Foundation	Isaac Asimov		/933/A92f/1991
ファウンデーション対帝国 Foundation and Empire	Isaac Asimov		/933/A92f/1991
ファウンデーション(銀河帝国興亡史1)	アイザック・アシモフ	早川書房	/933/A92g/1
ファウンデーション対帝国(銀河帝国興亡史2)	アイザック・アシモフ	早川書房	/933/A92g/2
第二ファウンデーション(銀河帝国興亡史3)	アイザック・アシモフ	早川書房	/933/A92g/3
われはロボット i, ROBOT	アイザック・アシモフ著		/933/A92i/1991
ロボットの時代(決定版)	アイザック・アシモフ	早川書房	/933/A92r/2011
第2ファウンデーション Second Foundation	Isaac Asimov		/933/A92s/1991
われはロボット(決定版)	アイザック・アシモフ	早川書房	/933/A92w/2014
幼年期の終わり Childhood's End			/933/C76C
白鹿亭綺譚	アーサー・チャールズ・クラース	早川書房	/933/C76h/2008
火星の砂	アーサー・チャールズ・クラース	早川書房	/933/C76k/2008
2010年宇宙の旅(新版)	アーサー・チャールズ・クラース	早川書房	/933/C76n/2009
2001年宇宙の旅(決定版)	アーサー・チャールズ・クラース	早川書房	/933/C76n/2014
宇宙のランデヴー Rendezvous with Rama	アーサー・チャールズ・クラース		/933/C76r/1990
2010年宇宙の旅 2010: Odyssey Two	アーサー・チャールズ・クラース		/933/C76t/1984
2001年宇宙の旅 2001: A Space Odyssey	アーサー・チャールズ・クラース		/933/C76t/2000
宇宙のランデヴー(改訳決定版)	アーサー・チャールズ・クラース	早川書房	/933/C76u/2014
幼年期の終り	アーサー・チャールズ・クラース	早川書房	/933/C76y/2008
アンドロイドは電気羊の夢を見るか？	フィリップ・K・ディック	早川書房	/933/D72a/2012
レッドスーツ	ジョン・スコルジー	早川書房	/933/Sc1r/2014
比類なきジーヴス	ペラム・グレンヴィル・ウッドハウス	国書刊行会	/933/W82h/2013
それゆけ、ジーヴス	ペラム・グレンヴィル・ウッドハウス	国書刊行会	/933/W82s/2014
よしきた、ジーヴス	ペラム・グレンヴィル・ウッドハウス	国書刊行会	/933/W82y/2014
はだかの太陽 The Naked sun	Isaac Asimov		納品待ち
火星の砂 Sands of Mars	アーサー・C・クラーク著		納品待ち
鋼鉄都市 The Caves of Steel	Asimov, Isaac		納品待ち
白鹿亭綺譚 Tales from the White Hart	Philip K. Dick		納品待ち

## 座談会

せっかく本好きが集まったのだから本について  
思い切り語り合いましょう、ということで  
座談会も開催しました。  
その一部を抜粋してお届けいたします。

○参加者-----

合志さん

(理工学研究科生命科学専攻 院前期 2年)

日高さん

(都市教養学部理工学系生命科学コース 学部 1年)

窪田さん

(都市環境科学研究科地理環境科学域 院前期 2年)

嶋崎さん

(都市教養学部理工学系物理学コース 学部 3年)

外間さん

(システム・デザイン研究科航空宇宙システム工学域院前期 1年)

福島さん

(システム・デザイン学部情報通信システムコース 学部 1年)

中澤さん

(システム・デザイン学部情報通信システムコース 学部 1年)

司書) 選書ツアーでは、毎回参加して下さる方のカラーが選んだ図書にはっきり出ていて、面白いなと感じています。今日はぜひ、選んだ動機などを交えて、皆さんと本にまつわるエトセトラをお聞かせください。

### 「知って欲しい日本、伝えたい日本」

合志さん) 今回私は、外国人とコミュニケーションするために、「知って欲しい日本、伝えたい日本」をテーマに選びました。最近、研究室では留学生が増えてきて、こういった本の必要性を感じていたんですが、図書館にあるのは古いものが多かったので、自分で選びたくて参加しました。選ぶ上では、なるべく対訳があって、留学生と一緒に読めて自分も勉強できるものを選んだつもりです。

あとは、『日本の絶景パレット 100』のような、四



司書) 研究室に外国の方が多くいるということですが、どこかに案内する機会もあるんですか？

合志さん) 実は明日鎌倉に行くんですよ。せっかく一緒に行くんだから、無言で見て回るだけじゃ

つまらないですよ。今まで何人も外国人のメンバーから質問された内容にも答えられるよう、話題を増やしたいと思って。

キャンパス内でも留学生が増えているから、同じようなことを感じている人は多いだろうなと思います。そういう場面で、食べ物や、花、神社仏閣など、日本を切り取ったような対訳本は役に立つと思って選びました。

司書) 東京オリンピックに向けて、そういう日本を案内するボランティアをやりたい、と思っている人も増えているでしょうね。

合志さん) 館内にも、語学コーナーにこういった本が何冊もありましたね。日本に外国人を迎える気持ちが高まっているんだろうなと感じて、通訳ガイドの本も選んでみました。

### 過去と未来 価値観の変質

日高さん) 僕のコンセプトは過去と未来です。まず、過去の中からは、第一次世界大戦をチョイスしました。ただの戦史資料ではなく、その前後 50年くらいの中でどういう世界情勢が重なって戦争が起きて、戦争の結果何がどうなったのかが書かれた本を選びました。

未来をテーマにしたものとしては、宇宙生物学の本。宇宙生物学は、50年くらいしか経っていない新しい学問のジャンルです。地球外には生命がいるのか、逆に地球の生命が宇宙に行って生きることができるのかということを考える分野で、天文学や生理学だけでなく、進化とか体の構造だとか、宇宙の真空無重力空間だから物理とか、めちゃくちゃ広い分野がかかわっているんです。まだまだ研究が進んでいない分野なんですけど、入門書があったらいいなと思ってチョイスしました。

あとはこれ、ちょっと趣味が入ってるけど、19世紀の産業革命あたりの技術が大好きなんで、スチームパンクの本や写真集を選びました。

司書) 第一次世界大戦のあたりに興味が惹かれるのは、19世紀の時代背景に興味がある、ということもあるんですか？

日高さん) 産業革命の頃って、工業化によってガーンと近代化が進んでいく一方で、昔の貴族や民族の価値観があたりまえにある時代ですよ。現代にも、第二次世界大戦のあたりにない、新しい技術と昔ながらの価値観が交じり合っている18, 19世紀の感じが好きなんです。で、それらを一度ぶっ壊したのが第一次世界大戦で、そのゆがみに引きずられておこったのが第2次世界大戦で。

僕は、価値観の大きい変質が起こる事にすごく興味があるんですけど、それが産業革命と第一次世界大戦だな、と思っています。なので、戦争について知りたいというよりも、何でそこで価値観の



変質が起こったのか、という視点から戦争を見ていきたいという感じです。

(一同深く納得)

司書) 今まで宇宙に関する本は選書ツアーでもよく選ばれてきましたが、宇宙と生物についての本は初めてですよ。今までにない角度から、宇宙について選んでくれましたね。

日高さん) これからの未来で、人間の価値観が一番変わるのって、やっぱり宇宙に出て行ったときなのかなって思って。

例えば、無重力空間では子供ができないという話があります。精子が泳いでいくには、地球の重力も計算に入れてプログラムされているらしいんですけど、無重力ではそれができないから受精できないとか。宇宙で生活するとすると、骨は少なくなっていくし、筋肉も減る。そんな風に体がどんどん変化していけば、心もそれに伴って変化するはずじゃないですか。もし宇宙に出て行くことができるなら、人間の価値観は今までとは比べ物にならないくらいバツカーンと大きく変わると思うんですよ。その下地として、宇宙で生物がどんな暮らしを送ることができるのか、ということを考えるのが大事だと思って、選んでみました。

司書) それ、そのままコンセプトに流用できそうですね。

日高さん) 僕のコンセプト、価値観の変質、ですかね(笑)。

## 議論されていることが本当は何なのかを知る

窪田さん) 私は、今の第一次世界大戦の話とちょっとつながるところもありますが、今回一番のコンセプトとして、主に戦争を時代背景にした映画の原作を、原書と訳本の両方でみなさんに読んでもらいたいなと思っていくつか選びました。

普段、好きな小説はよく読んでいる人でも、興味のない分野の本って案外手が伸びないじゃないですか。映画になっているものだと、取っ掛かりとしてそんなに難しくないのでかな、と思って。ちなみに『イミテーションゲーム』はつい最近上映されましたよね。『サラの鍵』は上映館が少なかったのですが、見た方いますか？



外間さん) ああ、『エニグマ』は『イミテーションゲーム』の原作ですね。

窪田さん) そう、どちらも第二次世界大戦中のヨーロッパの史実をもとにした作品です。日本のことも含めて、われわれは戦争について歴史の授業や教科書で、事実としては知っているけど、実際そこ

に住んでいた人の事や、何が起こったのかとかの詳細までは案外知らないですよ。映画って、うまいことそういう要素をピックアップしてぎゅっと濃縮して伝えてくれるので、初めてそのテーマに触れる

人でも、普段あまり意識しないところに足を踏み入れる入り口として、いいんじゃないかなと思って選びました。

その他は、「みんなの結構身近にある事柄」についての本、ですかね。例えば、最近では自然災害が多いので、その仕組みはどうなっているのかといった番組が増えてますよね。その他、さっきの雑談でもイスラム教やユダヤ教の事とか話題になりましたが、普段メディアや日常の会話で受け取る機会が多い言葉なんだけれど、実際それがどういふことなのか本当のところを知らない事ってかなりあるんですよ。自分できっちり確かめないまま、ああだこうだと議論していることがすごく多い。実はそのような状態で議論が白熱する状態って、すごく危ない傾向があると思うんです。人間が一番恐怖を感じるのって、知らない、という事らしいですよ。知らないことに対して、怖さが先に立ってしまっ、その結果攻撃的になったり、逆に自分の内に閉じこもってしまったり。

そういう人間としての仕組みがあるので、まず何より大切なのは議論されていることが本当に何なのかを知ることだと思って。まあ、本当が何かと言うこともあるんですけど、少なくとも自分で情報を得て、自分にとってそのことが何なのかを決めていくことが大事だと思います。

ここで選んだのは、気象の話や、ユダヤ人の話、セクシャルマイノリティの話などいろいろです。言葉としてはよく聞けけれど、実際それって何なんだろう、と思った時に、忙しい日常の中でふと立ち止まって手にとれるような、そういう本を提供できればいいなと思って。各分野のよく聞く言葉の入門書のようなものを選んでみました。

合志さん) 現状、何が起きているのかを知ろうとする姿勢は大事ですよ。知らないままでも議論はできるかもしれないけど、変な方向へ進んでしまっ、結末はよくないですよ。

司書) そういう状態って人の思考を簡単に変換させることができる状況でもありますよね。政治的な話もさっき出ていましたが、そういうあいまいな状況からは距離を置いて、ちゃんと自分で考える、そのためにちゃんと知ろうということですね。今の話を聞いて、窪田さんさんのラインナップの意味がよくわかりました。

## 考え方とか表現の仕方も含めて、会社は選んだほうがよい

嶋崎さん) 私の選書コンセプトは、「ほぼ役にたちそうなこと」です。

今学部3年なんですけど、あと1年あまりでこの先の選択に結論を出さなければならない状況です。就職するか院に進むとか、将来への選択を目前にして、そんな状況におののいている大学生が選ぶのはどんな本か、といった感じですね。

たとえば、『働くためのコミュニケーション力』『おとなの小論文教室。』



『たった一日で即戦力になる Excel の教科書』などなど、タイトルからしてとにかく役に立ちそうだ、と思うものをほぼ、集めました。

あと、『銀河ヒッチハイク・ガイド』というのは SF の名作として有名なんですけど、知ってますか？この本は、ステラモーターズの CEO と話す、なんて機会があるなら読んでおいたら楽しいんじゃないでしょうか(笑)。あとは、選書ツアーでは自分の専門分野のものを選ぶ人が意外と少ないと聞いていたので、「ファイマン流物理」等を選びました。

就職活動に必要な、考えること、表現することを中心に、物理と自分の好きなものを選んで次第です。

司書) 就活がかなり意識を占めているって感じでしょうか。

合志さん) 就活を最近終えた立場でひとつ言えることは、考え方とか表現の仕方も含めて、会社は選んだほうがよいていう結論になるんじゃないかなと私は思うんですね。

嶋崎さん) 考え方、ですか？

合志さん) うん。福利厚生とか、こういう仕事をやりたいってことは、会社を選ぶ導入部分なんだけど、社員さんの雰囲気やししゃべってみた感じがまず大事だなと思って。これから自分が生きていく場所として、全体的にどれくらいその会社と自分が合致しているか、を見るべ

きだから。自分自身が何をしたいのか、どういうところに行きたいのか、自分を見つけるという目も就活ではすごく鍛えられるんじゃないかな。

(おお～すばらしい！と感嘆の声)

窪田さん) 実際、面接官とか、人事の人はそういうところを重視していると思います。結局そこで一緒に働く仲間を探しているわけだし。どんなに優秀でも合わない人たちってというのは採用されないんじゃないかな。

中澤さん) 一致してるっていう言葉が出たんですけど、日本の企業って同じ考えの人が集まることによって多様性を失っているというか、やれることが狭まっている事がないですかね。

逆に人材に多様性のある企業っていろんなことができてと思うんですね。そういう会社がグローバルで活躍できてんじゃないかな。日本は単一族だし、国民性の影響もあって、日本の企業は可能性を狭めているんじゃないかって感じることもあるんですね。

合志さん) そうだね。日本の多くの企業の課題として、自由な考え方の人を会社がどう統制できるかってことかな。

中澤さん) 僕は統制されたくないほうなんですよね(笑)。

窪田さん) それを本人が気づかないように上手く使ってくれる上司もいるんだよ(笑)。

外間さん) ある程度多様があったほうが、あらゆることにとってもいいはずですよ。

中澤さん) 多様であっても衝突しないっていう環境を作れるのが理想ですよ。

日高さん) あるいは、衝突することによって新しいものや利益が生まれるとか。プラスマイナスでいうところのプラスになればいいんじゃないかな。

嶋崎さん) すばらしい組織論が展開されているところで、次へどうぞ(笑)。

司書) 就活のヒントになりました？

嶋崎さん) 本当に就活を終えられた方の言葉って言うのは、一番心強いですよ。

司書) 就活への素晴らしいアドバイスも飛び出すという、思いもよらずこんな場を提供できてよかったです(笑)。

## 100年後が人間の想像力の限界って事でいいんじゃないか

外間さん) 僕は、日高さんと話していて自分のコンセプトに気づいた感じなんですけど、「ディストピアにつながる動き」と「純粋な娯楽としての SF」、を選びました。

中澤さん) ちょっと待って、まずディストピアってなんですか？

外間さん) ディストピアは、ユートピアの逆の世界。ユートピアはいわゆる理想郷で、もろもろすべて上手くいっている社会として想定されています。一方ディストピアは、一般的には管理社会、何らかの組織に全員が監視されている世界だったり、何かしら上手く言っていない社会のこと



だと僕はとらえています。

で、現代における「ディストピアにつながる動き」って何かと言うと、例えばインターネットによって莫大な恩恵はもたらされたけれど、一方でハッキングとかの弊害にもさらされているってことがありますよね。今ある便利な技術も、うかうかしているとディストピアにつながっちゃうよという、ちょっと暗い未来を示唆するような本をラインナップとして選んでみました。

例えば『ソーシャルエンジニアリング』、これはシステムの一番脆弱なところは人間で、人って言うのはシステムよりも簡単に騙せるから、そこを対策しなきゃいけないっていうことを書いた本ですよ。あとは『ハッカーの学校』、最近ホワイトハッカーって言葉をよく聞くと思うんですけど、守るためにはまず攻撃手法を学ぶところから、ということで選びました。こういったことが、本当にそうなるかどうかはともかく、ディストピアにつながっちゃう可能性を持っているという、現実社会の話です。

一方で、これは純粋に楽しいSFなんですけど『星を守る者たち』は、太陽系に人類が進出してって人類の基地を作るために土建業界の人たちががんばるとい話です。SFってわりと綺麗な面だけを描いているものがあるんですけど、これは意外と泥臭い。結局宇宙に行くような未来技術を描きながらも、それをしているのは人間だから、泥臭い方向に話は進むという。

こんな2つの未来の、さてどっちにいくのかな、と言うのをコンセプトに選んだ感じです。

司書) ディストピアの話聞いて、最近、投資を機械がすべて行うというのがニュースになったのを思い出しましたよ。

日高さん) ディストピアネタでは、最終的には全部機械がやってくれるから、結局人間はいらないじゃん、という結末にたどり着くのがよくありますよね。

外間さん) そうそう、それもあって『テクノロジーが雇用の75%を奪う』っていうのも選んでみました。

窪田さん) 現実には、便利になったイコール人手がいなくなったイコール仕事がなくなったという部分はありますよね。



嶋崎さん) 仕事の75%が機械に取って替わられた状態は人間にとって問題かもしれないけど、100%人が仕事をしなくなったらどうなるのか、気になりませんか？もしかして結構幸せかも。

中澤さん) ロボットが口元まで食べ物運んでくれるとか(笑)。人間がすることは何もなくなるよね。そうすると人間が生きている意味は何だ？とか、ロボットが人類を滅ぼすというのが現実味を帯びてくるような。

外間さん) そうそう、最終的には働かなくていい社会ってのは確実にくると思うんですよね。昔は水を汲みに行くのに数時間もかけてたけど、今は水道をひねれば水がでる。じゃあその空いた時間はなに替わったかという、娯楽とかに替わったわけです。機械に75%の仕事奪われた分、余った時間はどんどん生まれているんですよね。働くイコールお金ややりがいを得るという観点では、労働を機械に取って替わられることに抵抗を覚える人が多いと思うけど、機械の働きによって時間を得ると言う視点でいうと、幸せかどうかはともかく、本当にずっと先の世界では遊んで暮らせるようになるような気がします。

嶋崎さん) 働くことが生きがいを生むという面もありますよね。それから、人の手によって生み出されるハンドメイドの製品は、機械では作ることができない。だからハンドメイドの仕事は今後も残っていくんじゃないか、ということがこの『はたらきたい。』と言う本に載っています(笑)。

司書) 10年後に、またこのメンバーでディストピアについて話し合ったら、まったく違う話が出そうですね。

外間さん) 確かに！そのころは管理する側とされる側に分かれていたりして。う～ん、皆さん仕事の選び方には十分気をつけないと(笑)。

合志さん) う～ん、今は社会の変革が激しすぎて、50年後でも難しいかも。

(一同深くうなづく)

嶋崎さん) そうすると、想像力の限界ってどのくらいなのでしょうね。

中澤さん) でも意外と社会って予想しているほうには行かないもんですよね。昔から将来的にはコンピュータが世界を支配するって言われてきたけど、現代はまだそんな社会にはなっていないわけだし。面白いからいろいろ想像するけど、実際にはそうならないってことも多いかな。

外間さん) 昔の技術力で想像できる未来の限界と、今の技術力を元に想像できる未来は違うからね。一昔前、未来と言えば、コンピュータに支配されたり火星人が攻めてきたりって事を皆で空想したけれど、それについて現代では、空想ではなく科学的に考えられるようになってきているわけで。想像する未来も時代によって変わっていきますよね。

日高さん) もしかして50年後にはまた、地球外生命体についてうんぬん議論しているかもしれない。

嶋崎さん) 今から200年後の世界ってどうやって想像すればいいんでしょうね。100年後くらいならなんとなく想像できるような気がするけど。

外間さん) 事象の変化のスピードがどんどん変わっているから、人間が追いついていかないですよ。だから僕はもう100年後が人間の想像力の限界って事でいいんじゃないかと思うんですよね。100年前の新聞に、100年後の未来として国際電話や新幹線のことを書かれてるんですが、それがその当時の人々の身の回りから想像できる一番かっこいい未来だったのかなって思って。馬車が移動手段で、外国の事もよくわかっていないような時代にそういうことを想像できて、それらが今実現しているっていうことは、現代の僕らが想像している範囲のことは近い将来できちゃっているかも。しれないって思いますよね。例えばワーブとか。

日高さん) 概念すらないものは想像できないです

中澤さん) 電車がようやく走り出した時代では、将来時速100km、200kmの電車が走るようになったらすごいと皆が考えていた。つまり、ひとつの事柄の未来を速さという狭い範囲でしか想像できてなかったわけですよ。ところが今は、いろんな技術があって、技術と技術の組み合わせでどんな新しい何かができるようになるか、もはやわからないですよ。未来の予測っていうのが本当に難しい。

(一同深い息をつく)

司書) . . . だからSFが好きなんですかね。

外間さん) そうですね。ちゃんと未来が描いてありますからね(笑)。

## 今までやってこなかった新しい事をやってみたい

**福島さん** じゃあ僕は・・・ディストピアからの新たな始まりという事で。

一同) おお～うまい!

**福島さん** (笑) 大学生になって、時間もできたので今までやってこなかった新しい事をやってみたいなと思って、そのきっかけになるような本を選びました。

たとえば、芸術関係に興味があるので、音楽の入門書や水彩画や油絵の手始めに読めるようなものとか。あとは論理的思考の磨き方や会話術。

大学に入って、いろんなものにチャレンジしたいなと思っていたので、その取っ掛かりになるような本を選べたと思います。



## 簡単に定義しちゃうと失われるものも多い

**中澤さん** 僕のコンセプトはそのまんまで、「興味のままだけに選びました」です。選んだ本だけを見たら、人は僕をどんな人間なんだと思うかもしれないけど、このラインナップについてはいっそ一日かけて語りたいくらいで (笑)。



というのもそもそも、関係性を縛るような言葉が嫌いなんです。今まで割りとお人に縛られない環境で育ってきたのもあると思うんですけど、相手との関係性を言葉にしちゃうと距離が離れちゃう気がして、いやですね。親の事も名前に君付けで呼んでるくらいだし。相手を個人として見て付き合うほうが、より親密になれるし相手のことを理解する事ができる気がする。そう思っているところで最近、宇多田ヒカルっていう人は僕と近い人なんじゃないかと思って (笑)。彼女の本を読んだんですけど、僕が感じていた事をちゃんと言葉で表現できるのがすごいなと思って衝撃をうけました。

たとえば、今の日本では学歴とかどんな家に住んでいるとかで人を見る傾向があるけど、そうだからこうってその人を簡単に定義しちゃうと失われるものも多い気がするんですよ。言葉で決め付けちゃえば、いろんな事を考えなくてすむから楽だけど、そうする事で見えなくなっちゃうこともたくさんあるから。そうせずに物事を深く考えるっていうことは大変な作業なんだけど、それをやる事で新しい物事が見えるからそうしてみたいって思う。

**合志さん** なるほど、そう思っている人が選んだ本、ってことね。

**日高さん** もうちょっとまとめらんないか

(笑)。例えば、POPに書いたのはどんな本?

**中澤さん** え～と、『イスラム国テロリストが国家を作る時』とか。イスラム国は、価値観が多様化する現代社会で、国家という枠組みの重要性が弱まっているということから発生しているという見方がある。何であんな恐ろしい集団に人が集まるのか、を考える事で、逆に今国家がどうなっているのかが見えてくると思うんですよね。

**合志さん** いろんな視点を勉強して、自分が迷っているのを消化していきたいって感じ?

**中澤さん** 養老孟司さんも迷え迷えと言っていました (笑)。そのとおり散々迷ってますから。でも、自分で迷いたいからいいんです。

**司書** そんな風に考えるようになったのはいつごろから?

**中澤さん** 受験勉強をしている時に、到底上っ面の知識だけじゃ解けないような、英語とか現代文とかのものすごく難しい問題に出会って。そこで物事の本質まで掘り下げて深く考えようと思うようになりました。で、大学に入って時間ができて

いろんな本を読むようになって、また迷って (笑)。その結果、得られたものも多いですけど。今になっても、問題の冒頭で「第一人称の死は、生きている限り決して体験されることのない、未知のものである。」というふうに書かれていたのは鮮明に覚えています。

あとは、高校1,2年の頃に初めて引越しを体験したんですよ。生まれ育った場所を離れて、新しい土地に移るというのは衝撃的でした。テレビで東京っていう場所があるのは知っていたけれど、そこに住む人がいると言う事を感覚的に理解できるようになったんです。場所っていう概念が自分の中に植えつけられたんですよ。今まで住んでいた土地や新しく住むことになった東京を外から眺める、という感じ。

**合志さん** ああ、さっきのイスラム国の話みたいなね。逆から見てわかる事、ね。

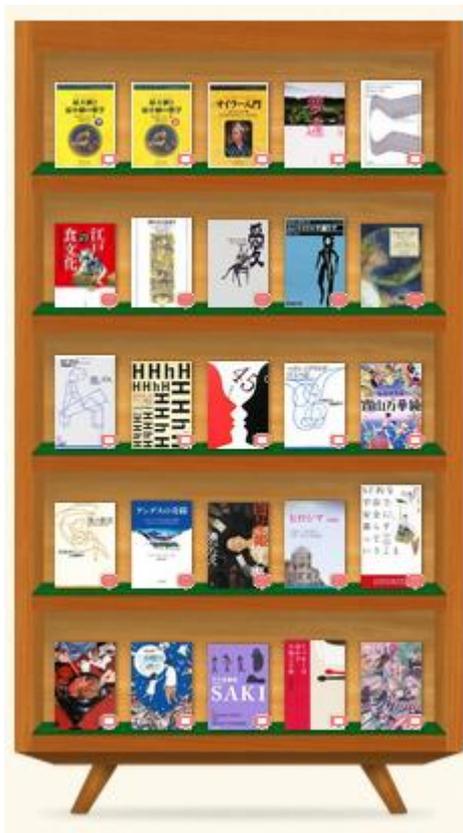
**窪田さん** こうなったらぜひ、海外にも行ってみたい。すごい感覚を得て、また中澤くんが大きく変わりそう。

1時間あまりの座談会でしたが、紙面の関係でごく一部しかリポートできないのが残念です。

参加者の皆さん、濃密で楽しい時間をありがとうございました。



選書ツアー本はブックログでも紹介されています！



図書館 HP

→本館

→ブックログバナー

から Go !

H27 年度第 1 回

学生選書ツアー一本カタログ

2015.7.23 発行

首都大学東京図書館本館